

平成 29 年度 第 4 回調布市民健康づくりプラン・調布市食育推進基本計画 改定委員会

平成 29 年 10 月 17 日（木） 14:00～16:05

調布市保健センター 3 階健康増進室

出席：中川委員，石田委員，芝田委員，西浦委員，西澤委員，塩島委員，関塚委員，渡辺委員

欠席：緒方委員，岡部委員

1 開会

資料確認

2 議事

（1）調布市民健康づくりプランの検討結果報告について

事務局より資料 1 「調布市民健康づくりプランとりまとめシート」について説明

委員

大区分・中区分・小区分と分類されており，市民，地域，行政にできるそれぞれの役割があると改めて感じた。

委員

とりまとめシートはどのように計画に反映するのか。

事務局

第 3 次計画の第 4 章で，をさらに落とした形で，市民・地域・行政の取組として設定している。後ほどの検討のときにご意見をいただいてもよいと思っている。

（2）調布市民健康づくりプランの素案について

事務局より資料 2 「調布市民健康づくりプランの素案」について説明

<冊子の構成について>

委員

暖色のほうが食は進むと思う。

委員

1 つの冊子にするメリットは何か。市民にとって，別々のほうが分かりやすい面もあるし，1 つにすることで一緒に手にとってもらえるメリットもあると思う。

事務局

生きていく上で2つとも関わりが深いので、1冊のほうがよいと思っている。計画が一緒になっており、改定委員会も同時進行しているので1冊にするという考え方もある。

事務局

健康づくりに食が出てきて、食育と被るところもあり、同じ改定委員会で検討しているので、1冊でやるのもよいと考え、1冊にさせていただいた。1冊にするか悩ましい面もあるが、重なる部分もあり、確かに手にとってもらえる機会が増えるメリットもあると思う。また、コスト的な部分もある。

委員

それぞれで概要版は作らないのか。

事務局

概要版は作る予定だが、それぞれ作るか、両方を掲載した概要版とするかは決まっていない。

委員

それぞれ関連性があるって1つにするならば、概要版にも関連性を出しながらやるとよい。それぞれ別にするならば、概要版を1つずつ作り、手に取ってもらいやすくするのも方法と思った。

事務局

ホームページに掲載する計画書の、PDFで掲載するときのことばかり考えていた。序章、プラン、食育、資料編の4つに分けてホームページ上でPDFを取り出せるように掲載する。

事務局

概要版はそれぞれ別に作成する予定。

委員

構成については特に意見はない。

<素案 1章～2章について>

委員

先ほどの修正案について、☆に変えるということか。

事務局

悪化という言葉がいかがだろうかとも思い、現時点の最有力候補は☆である。

委員

☆だと、一見したときに矢印よりもイメージがわからないかなと思った。

事務局

矢印での表現が難しく、食育のほうは大丈夫だったが、プランでは値を下げれば逆に成果としては上がるというものがあり、混乱する部分があって、なかなかいい案が出てこなかった。

事務局

5章にも同じような評価があり、そこは◎○△が使われているので、5章とも区別したかった。

事務局

見づらいただろうか。試行錯誤しており、いい案があれば教えていただきたい。

事務局

男女推進のプランで☆を塗るものがあったので、それを参考にした。それでも見づらければ、何かよい案を出していただければと思う。

委員

一緒にいただいて両方の素案を同日に見たが、健康づくりプランと食育基本計画で違うものだが、見ていると納得できて一見して分かるのは矢印である。食育推進基本計画の矢印で、成果があったのか変わらないのか、それがすぐに理解しやすいと感じた。全部文字だったものは読みづらかった。同じ矢印ではいけないのか。1冊にするならば、別々にするために評価の表現方法を変えないということか。

事務局

評価は同じ表記にしたい。食育では矢印でプランを文字で示してみたが、どちらも分かりにくいという話になり、違うものにしたほうがよいのではないかとということで、◎や○を使うことも考えたが、5章で同じ表記になっており、そちらの強弱が◎○になるため、同じように評価の改善、同程度で同じ模様だと分かりにくいということで☆で示している。☆がよいのであれば、食育もあわせて☆にする。説明が不足していて申し訳なかった。どの表記が皆さんにとって分かりやすいか、ご意見いただきたい。

委員

別々に分けないといけないから、評価の表記を分けたのだと思っていた。個人的には矢印が分かりやすい。

委員

矢印が分かりにくいと思った理由はあるのか。

事務局

矢印で成果の上下を表したいが、数値を下げることで成果が上がったもの、数値を上げたほうがよいものと並列で書いていくと分かりづらいという意見も事務局内にあり、目標値を上げるものと下げるものが混在している中で、成果も矢印だと混乱すると考えた。修正案の26ページを見ていただき、矢印は頭の中で考えていただいて、「家族間での教育機会」で目標値を「上げる」とある。これに関して現状値は69.0%で、平成23年度当初値より下がっている、ということで☆は塗られない。言葉で表すと

悪化、矢印で表すと下向きになる。目標値を「上げる」になっているが、矢印は下がっていると、悪化なのか改善なのかわからない。単純に矢印を見ただけでは評価しづらい項目があり、いろいろな方の意見を聞き、矢印ならば、プランは文字の補足が必要という意見も出た。項目がいくつかあり、悪化という言葉が印象として良くないこともあり、矢印と言葉と、◎○を第5章で使いたいという考えがあり、評価が違うものを同じ記号にすることはどうかということで、最終的には☆に落ち着いている。今の状況を考慮して、違った目線でご意見いただけるとありがたい。5章の説明をしたいと思ったが、今は濃淡で関連の深さを表しているが、以前他の計画で色覚的に見づらい方もいるという意見があったので、濃淡の表現をやめて◎○△に変更しようと思っている。ご自身がかかわっている計画での表記などあれば、教えていただきたい。

委員

私も矢印は混乱した。見た目として☆はいいが、☆も混乱する。なぜなら「改善の余地あり」に2つ星がついている。☆の数と色がついているかどうかを、一目で改善したのか、横ばいなのか、改善の余地ありなのか、見えづらい。☆の数が多い・少ないならば一目で分かる。表現がいいかは別として、そう思った。

事務局

☆の数での表現もやってみたが、悪化したものに★が1つ付いてよいのかという話になり、塗りつぶす形にしたほうがよいという議論になった。例えば、悪化したものには△で表記する案もあったが、☆の中に△があるのはおかしいということで、現状のものになっている。

委員

☆を見たときに、良かったと感じた。下の凡例を見ないと、「改善の余地ありが☆なのか」と思う。

委員

改善されていたら☆、改善されなかったら★、横ばいは半分黒にしたらどうか。星の数が多いとすべて良くなったように見える。

事務局

あえての★ということか。

委員

悪化ならば、★にしてもよいのではないかと。黒であれば、だめなものだと分かるから。☆は○でよい。

委員

私は、お日様と曇りと雨でいいと思う。よく景気が上がったり下がったりという表現で使われている。横ばいが曇りかなとふと思った。ただし、3つになるとややこしい。

事務局

お日様と、お日様に半分雲がかかっているものと、曇りマークか。

委員

横ばいが曇りかなと思う。3つだと難しいなと思った。

事務局

キープするのも大変なのに、あまりできていないように評価されるのも不本意である。

委員

顔のマークではだめなのか。

事務局

痛みスケールという違うものになってしまう。多方面からご意見いただいたところ、客観的な評価に顔を使うのは馴染みがないようだ。

委員

笑顔や泣き顔、普通の顔、怒り顔というものがある。

事務局

自分の気持ちを表現することには使えるが、こういうものには使えないと聞いた。修正案では、成果が◎○△というものもあって、5章の色の濃さでの評価を別のものに変えられれば、ここは◎○△の表記ができてベストかと思う。他課から濃淡ではよくないという意見があったので、5章の表記を違う表現にできれば、◎にしてもよいかもかもしれない。

委員

5章と同じ表記はよろしくないのか。2章から5章に飛ぶことはあまりないと思うが、一緒にすると何か問題があるのか。◎○△が使えると成果のアップダウンが分かりやすいと思う。横ばいを△か○にするのか、という気もする。横ばいならば○という感覚で5章を読む人はいないようにも思った。両方同じ記号でもそこまで混乱しないのではないか。

委員

確知行革プランの施策評価も◎○△としている。そこに合わせたほうが市の刊行物としては統一感があると思う。

事務局

行革プランを見て◎○△にしようと思ったが、5章と評価の記号と重なるため、変えたほうよいという意見があった。ご指摘のあったとおり、2章と5章で間が空いているので問題ないだろうか。

委員

記号などを付けることならば、前提として誤解のないようにしないといけない。ここで議論になるほど、いずれの記号も難しいと思った。矢印はおっしゃるように、折れ線グラフのようなイメージで、上

がった、下がったといった表現にとらわれがちになるので難しいと思う。☆も難しいならば、改善や同程度といった文章でよいと思う。5章はカラーだと難しく分かりづらいところもあるので、◎○△がよいと思う。

委員

矢印はそれほど見づらくはないと思ったが、委員の意見を聞くと文字でもよいと思った。

事務局

文字ならば誤解がない。

委員

☆よりも誤解がないのか。

事務局

☆や矢印よりも誤解はない。ただ文字だと堅い印象だ。「悪化」は「改善の余地あり」など、言葉を変えればよい。

委員

成果は書かなくてはいけないのか。横ばいでも、悪い横ばいではなくて、いい横ばいもある。

事務局

有意差や統計学的に上がった・下がったと出てしまうため、私たちがそれでよいとはできない。

委員

それも難しい。よい意味で横ばいなのに☆が1つなど、うまく成果を表現するのか、難しい。

事務局

成果をなくして目標値と現状値を見て判断するのはどうか。

委員

取組に対する評価は必要だ。

事務局

矢印や言葉について意見をいただけるが、◎○△については、可もなく不可もなくという感じだろうか。

委員

5章を考えなければ、◎○△でもいいと思う。

事務局

◎○△で検討させていただく。

<素案 3章～4章について>

目標1：正しい情報を選択する力を身につける

委員

「一人ひとりの行動目標」の3つ目の「インターネットだけでなく」という文章だが、インターネットが一番先に来到ることに違和感があった。上の説明文でも「インターネットなどの媒体を通して」となっているが、インターネットだけではなくテレビなどから情報を得る人も多いと思った。

委員

この文章だとインターネットを一番重視しているように感じる。

事務局

文章を検討し、改めてご報告させていただく。

委員

目標1に対する成果指標として、飲酒と喫煙、携帯電話の使用ルールの3つだけでよいのか。インターネットと言っているのにそれだけでよいのか。

事務局

継続した計画なので第2次プランの成果指標を入れたり出したりをしないほうがよい。第2次プランの目標は6つあるが、そこから成果指標を拾い直した上で、ここでは特に追加はしていない。他の目標には追加をしたが、追加したほうがよい指標があれば教えていただきたい。

委員

少し違和感があった。

事務局

事務局でも検討するが、もし何かあればヒントをいただきたい。指標に追加するか検討させていただく。

目標2：自分の健康状態を知る

委員

「う歯」にアスタリスクが付いているのはどういうことか。

事務局

アスタリスクのついている言葉は、参考資料として用語説明を追加する予定だが、まだ資料ができていない状態だ。

委員

HbA1c は、HbA1c だけにアスタリスクが付いているのか。

事務局

HbA1c という単語に対してアスタリスクを付けている。

委員

6.1 にマーカーがあるので、重要な数値なのかと思った。

事務局

HbA1c が6以上で糖尿病の予備軍になるが、分かりづらいので検討する。6.1 は変更予定なので最終的にマーカーは消える。

委員

「他計画における主な関連取組」について、「※調整中」になっているのは、今後掲載されるのか。

事務局

策定中の計画と確認しきれなかったものが調整中になっている。データヘルス計画や高齢者の計画、障害福祉計画等が現在策定中だが、まだ書き込むことができないため、整ってから追記する予定だ。

委員

ここは決定後に掲載ということで了解した。

目標3 健康的な生活習慣を実践する

質疑応答なし

目標4 ストレスを解消できる方法を知る

質疑応答なし

目標5 安心して相談できる人・場所を見つける

質疑応答なし

目標6 自分の家族・地域に関心を持つ、目標7 地域でのつながりを持つ

質疑応答なし

<素案 5章～6章について>

委員

子ども家庭課の2つめだが、「乳幼児・義務教育就学時医療費助成」の事業概要の「ついていは」は誤字なので修正していただきたい。

事務局

修正する。

(3) 調布市食育推進基本計画の素案について

事務局より資料3「調布市食育推進基本計画の素案」について説明

<素案 1章～2章について>

委員

138ページのグラフで、○が付いているものと付いていないものは何が違うのか。

事務局

注視してほしいところに○を付けている。特に「食べ物を大切にする」について、注目してほしいポイントを○で囲っている。この以外にも○を付けているものがあるが、すべて該当目標に対して見てほしいところとなっている。

<素案 3章について>

委員

「地域で食事をする機会のある人の割合を上げる」の現状値が不明にもかかわらず、「上げる」という目標を立てているのは、今後いつ聴取して、どの時点で上げたという評価をするのか。

事務局

現状値がないから目標を上げられないというのは、おっしゃるとおりだ。どう表記をすればよいか。

委員

現状値が不明だと目標値は立てられないと思う。

事務局

今まで「土台」がなく、黄色い冊子「調布市民の健康づくりに関する意識調査報告書（平成29年3月）」の評価を示さなければいけないが、現状値は取ったことがない状態である。確かに目標を上げるというのは変かなと思うので、検討する。

委員

心、体、技とあり、土台というのは地域とか家庭ということか。前半の2章の「(4) 家庭、地域」が土台に当たるのか。

事務局

2章は第2次計画の評価で、土台という言葉がそのときには存在していない。ただ、第2次計画の5章で「地域、家庭での取組」があり、そこで推進していたので、つなげるために項目出しをしている。

委員

今回、「地域で食事をする機会のある人の割合を上げる」を土台の部分にのせるが、子ども食堂、地産地消という言葉は出てきているが、具体的にどういうものが出てくるのか。

事務局

農林水産省か厚労省で、似たようなことを聞いており、そういう指標ならば取れると思い今回出した。具体的には、自分が地域に参加したと思えば○というような印象だった。

委員

お祭りの屋台で何か食べでも、参加に入るのか。

事務局

入っている。人によってはホームパーティーに地域の人を呼べば、入るのかもしれない。給食をそう捉えるかもしれないし、その人が考える「地域」でよいと思っている。取る段階にはいっていないので、イメージのみである。

委員

イメージがわからなかったが、了解した。

委員

「子ども食堂など」とあるが、地域で増やしていければよいという思いで、書いているのか。

事務局

そのとおりである。

委員

地域で食事をする機会という意味での子ども食堂なのか。

事務局

そこは悩んだが、計画において、表記は必要だ。子ども食堂には2つ意味があり、貧困もあるし、1人で食べるのではなく地域の子どもの食堂で食べるというさまざまな意味がある。地域で何ができるかというときに、多くのところから子ども食堂の話を食育で入れるという方向性になった。そのときに、地域である土台に入れようとなった。ただ、私たちもどの程度まで踏み込んで入れるかが難しく、また「主体別の取組」の「地域」で、再度子ども食堂が出てくるので、両方とも合わせてどこまで入れるかを悩んでいる。踏み込み具合がおかしいところがあれば、ご意見いただきたい。

委員

この言葉が出てくると、進めていきたいことがわかる。

事務局

子ども食堂の現状として、母子家庭で母親が仕事で忙しいため子ども食堂に行っているなど、私たち

がイメージしている貧困だけでなく、友達と一緒に遊びに来てご飯を食べるなど、地域の交流の場にはなっているようだ。イメージで貧困だけのものだとすると違和感が増すかもしれない。

委員

具体的にあるのか。

事務局

市内に2つある。

委員

子ども食堂を作るのは大変で、バックアップして増やしていく方向が、地域のつながりも含めてよいと思うが、ここに掲載してある意味は何か。

委員

積極的に推進したいと読める。

委員

市が積極的にやっっていこうとを感じるが、各機関と連携して運営し続けるものになっていくことが大事だ。たまたま私が所属している社会福祉協議会が関わっているということもあり重さを感じた。

事務局

社会福祉協議会の高齢者会食は、地域の子どもの交流は難しいのか。

委員

高齢者会食は地域福祉センターでやっているもので、ふれあい給食が小学校の空き教室を使っている事業である。生徒と交流して給食を一緒に食べてお話をしている。

事務局

ふれあい給食は子どもたちが昔遊びを教えてもらったり、食について学べる場所のようだが、高齢者会食は、もう少し自立している印象だ。地域の人やボランティアがしっかりした食事、素材を大事にした食事づくりをされているからもったいないかなと思った。子ども食堂ではないが、そこでの地域交流は今後あるのか。

委員

高齢者会食でということか。ふれあい給食は、交流を含めた食事という目的があり、高齢者会食は食事を食べるのが目的で、見守りの役割でもあり、同じ食事に関する事業でも趣旨が違う。今後の具体的なことは私の判断では言えない。

事務局

子ども食堂は、食べる目的だけではなくて交流も含まれるということか。

委員

見守りも含まれる。ボランティアが食事を準備して、学校が終わった子どもが来て、ご飯ができるまで遊びや宿題をしている現状がある。ご飯ができたら、みんな揃ってではなく食べたい子が食べ、子どもに強制はせずに居場所として提供している。ただ社会福祉協議会が子ども食堂を運営しているわけではない。続けていくためには金銭問題やボランティアの難しさを聞く。

事務局

検討します。

<素案 4章～5章について>

委員

地域が大変だなと感じた。

事務局

ライフステージ別であったほうが良いものなどがあれば、教えていただけるとありがたい。もしすぐ挙がらないようであれば、ご意見シートに記載していただきたい。

食育コラムはライフステージ別に合ったものを検討中なので、決まり次第ご報告する。

<素案 6章について>

委員

お役所仕事は縦割りで、全部の課を回らないと必要なことが分からないことが多々あるが、調布市が市民の健康や食育について、連携を取ってつなげて下さっていることが市民として心強いと感じた。

<健康づくりプラン及び食育推進基本計画全体を通したご意見>

委員

153 ページの1行目、「食育で取り組むべき分野であるを」となっている。

イメージは分かるが、土台は何かよく分からないときがある。5章「主体別の取組」では、『土台』である食育を推進する多くの関係者、「家庭・行政・地域」など、さまざまな言い方のため、表記を統一したほうが分かりやすいかもしれない。心・体・技は読めば分かるが、「土台とは何か」が時々出てくると分かりやすいかもしれない。

委員

健康づくりプランの「安心して相談できる人・場所を見つける」に、「一人ひとりの行動目標」の4つめにある「自分の周りにいる、普段と違って元気のない人に声をかける」だが、元気のない人に限らないのではないか。普段と様子が違う人に積極的に声をかけるような環境がよい。元気を装っている人もいるかもしれない。

委員

健康づくりプランの65 ページ、3段落目「例えば通勤・通学や家事などなるべく歩くようにする

などです,」と, 最後が読点で終わっていることと, 「～など～など」になっており, あまり良くないように思える。

事務局

検討させていただく。

委員

健康づくりプランも食育計画も混乱しない, いいやり方がないか。4章は目標が1から7まであり, 自分が読んでいるものが目標の何番なのかが探しにくい。上の柱に章までは載っているが, もう1つ載せられないか。

事務局

目標が隠れており分りづらいので, 検討する。食育計画と健康プランで字体やデザインが異なるところがあるが, 最終的に統一する。内容以外にもレイアウト等で質問などがあれば, 教えていただきたい。

委員

健康づくりプランの64ページだが, 冒頭が「中高生 30.8%」となっている。表が前ページから続いているので, 詰められないか。

事務局

修正する。

委員

健康づくりプランの総人口の推移のグラフだが, 中央部分の数字がグラフの線に数字が重なって切れている。

事務局

修正する。

3 連絡事務

次回予定

1月22日(月) 14:00～ (予定 ※ 変更の可能性あり)

4 閉会

以上